

静岡県立中央図書館を全国的に見ると…

『日本の図書館 2015 統計と名簿』（日本図書館協会 2016年2月）より

静岡県

財政力指数 0.68362 (2013年) ← 7位

人口 3,705,000人 (2014年) ← 10位

面積 777,870ha (2014年) ← 13位

総務省統計局サイトより

蔵書冊数 (冊)

1	大阪府	2,625,848
2	東京都	2,440,257
3	埼玉県	1,549,169
4	滋賀県	1,370,936
5	千葉県	1,358,273
	全国平均	1,003,788
35	静岡県	782,422

★県民一人当たりの蔵書冊数は0.206冊で全国41位

延床面積 (㎡)

1	大阪府 *	37,688
2	東京都 *	27,547
3	岐阜県	25,206
4	京都府 *	21,220
5	福井県 *	20,015
6	愛知県	19,604
7	神奈川県 *	18,746
8	岡山県	18,193
9	宮城県	18,101
10	高知県 (新館)	17,764
	全国平均	12,086
30	静岡県	8,817

※分館体制の県 (*印) は面積合算

図書館費 (千円) (2015年度予算)

1	東京都	1,396,234
2	大阪府	797,818
3	京都府	424,114
4	神奈川県	368,288
5	奈良県	347,422
	全国平均	226,770
23	静岡県	172,742

※図書館費=人件費を除く図書館のすべての経常費
※分館体制の県は合算

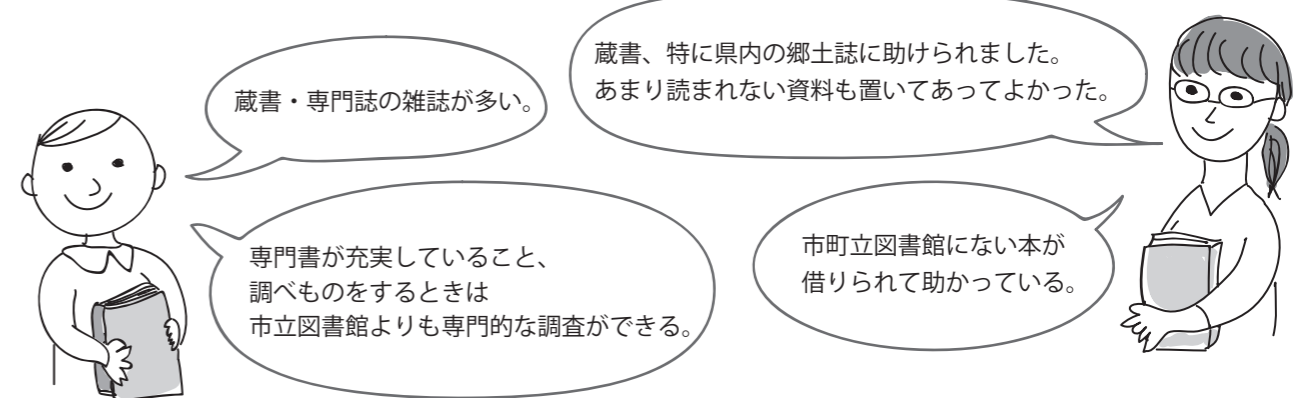
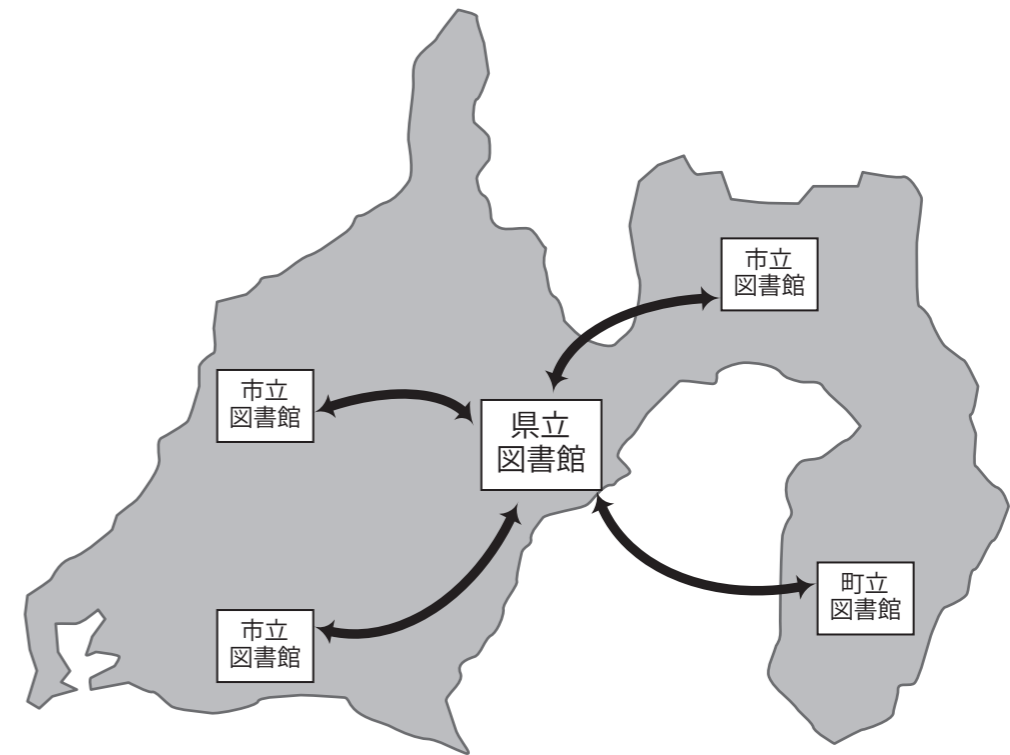
静岡県立図書館がさらに充実すると、
県内の市町立図書館も充実し、
県民の調べる・学ぶ環境が
もっとよくなることにつながります！



県立図書館は

全ての県民とつながっています

～県立図書館と市町立図書館はなにが違うの？～



静岡県立中央図書館館報『葵』の「利用者アンケート」より

編集・発行 静岡図書館友の会
発行日 平成28年11月1日
代表 田中文雄
連絡先 総務携帯：080-6910-9434
Eメール：sizutomo2008@yahoo.co.jp

市町立図書館へのサポート

県立図書館から市町立図書館へ、市町立図書館から県民へ

★運営相談

各市町の拠点館を年間9回訪問する協力車や電話を通じ、市町立図書館等からの問い合わせに対して、図書館活動の振興の面から助言や情報提供を行っています。

★県内図書館員への職員研修

市町図書館や大学図書館職員を対象に約10種類の研修を行っています。また、県立職員が市町まで出向き、研修の講師を務めることもあります。

★相互貸借とネットワークづくり

静岡県内の公共図書館、大学・専門図書館などの所蔵する資料を一括して検索できるシステム（愛称「おうだんくんサーチ」）を整備し、現在では、借受の申込みから返却された資料の受け取り連絡まですべてインターネット上でを行っています。

★地域資料、新聞雑誌の書誌情報の提供

市町図書館の書誌作成業務を軽減し、県内図書館の書誌データ標準化を図るために、県立図書館で書誌を作成し、提供しています。

★市町立図書館へのレファレンス対応

市町立図書館では、解決しなかった課題が県立図書館に寄せられます。県立図書館の専門的な蔵書を調査することで、市町では解決できなかった課題を解決しています。

★協力貸出

県立図書館の資料を県内市町立図書館などに貸し出します。市町図書館間の相互貸借では、出版後半年経過しないと借りられません。県立は準備ができ次第借りられます。

県立図書館の仕事とは？



来館者へのサービス

居心地の良い空間、充実した資料の提供

■閲覧室

十分な閲覧席、貸出返却を受ける総合案内カウンター、レファレンスサービスカウンター、インターネット端末、貴重書展示コーナーなどがあります。

■レファレンスサービス

県民の調査研究や生活の中のさまざまな疑問に対して、参考となる資料の紹介や情報の提供を行っています。

■書庫

県立図書館の資料は永年保存しています。資料は閲覧室の他、書庫で保管しています。古い資料を見れば、その時代の考え方や社会の動きを知ることができます。

■データベース、マイクロフィルム

新聞・雑誌の記事や研究論文、法令・判例情報などをキーワードや年月日を入力して検索することができます。新聞のマイクロフィルムも所蔵しています。

■ビジネスコーナー・健康医療情報コーナー

白書、ビジネス雑誌、統計年鑑、会社四季報など、ビジネスに役立つ資料をまとめているほか、健康や医療に関する本や雑誌をテーマごとに並べています。

■子ども図書研究室

県内の子どもの読活動推進のため、研究用として多くの子ども図書や参考図書を収集し、「子ども本とを結ぶ活動」に関わる人々を支援しています。

■歴史文化情報センター

中世、近世、近現代などの資料の複製写真を提供しています。

／ ありがとう、県立図書館！ ／

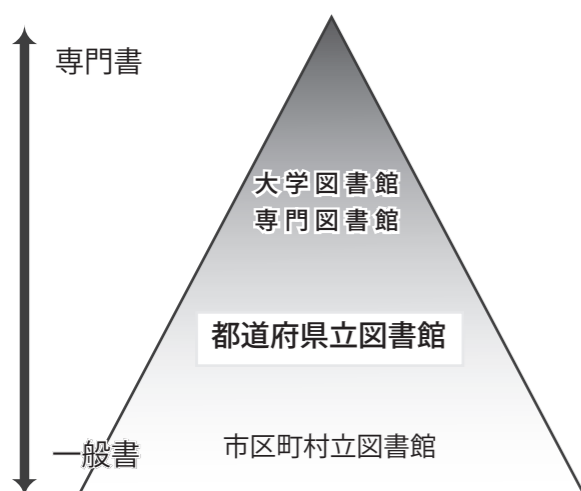
本を出版する際、県立図書館で大戦前後の静岡について調べたが、市町立図書館にない専門書の他、陸軍関係の記録などもあり本当に役立った。また「おうだんくんサーチ」や「新聞雑誌総合目録」で資料を効率よく探すことができ、県立にしかできない仕事に感謝した。(NPO 法人理事)

県立図書館の研修にはなるべく参加して自館の活動に役立てています。協力車訪問では気軽に運営相談ができ心強いです。また、小さな館だと専門書は十分に収集できませんが、県立からの協力貸出で利用者の希望に応えることもでき、感謝されています。(県内町立図書館員)

レファレンスの際は県立図書館をフル活用しています。「おうだんくんサーチ」や「新聞雑誌総合目録」での所蔵確認、また県立の「レファレンス事例」で類似例を探し、利用者への情報提供に役立てています。他にも「地域資料 MARC」を利用して自館の所蔵管理に利用しています。(県内市立図書館員)

新人時代、レファレンス相談を通じて地域資料などを紹介してもらったり、研修時に県立の書架と一緒にまわりながら、使える資料や配架法、収集方法など親身に教えてもらいました。そのことは本当に助けになりましたし、15年経つとも業務の基本となっています。(県内市立図書館員)

図書館の蔵書イメージ



●一般資料

調査研究用の図書を中心に、全分野にわたり入門書から学術書まで、幅広く整備を図っています。市町村図書館に比べるとやや専門性の高い資料の比重が高くなっています。

●地域資料

静岡県に関係する地域資料を収集することは、県立図書館としての基本的かつ重要な役割です。静岡県の歴史・地誌・人物・民俗・文学等の資料、静岡県出身者・在住者の著作、県及び各市町が刊行する行政資料などを、積極的に収集しています。

●雑誌

図書の蔵書構成を考慮しながら、全分野にわたって資料性の高いもの、学術的なもの及び同時代性を反映するものを収集しています。所蔵雑誌は約1,500タイトルです。

●児童書

県内の子どもの読活動推進のため、研究用として多くの児童書を収集・提供し、「子ども本とを結ぶ活動」に関わる方々を支援しています。平成15年度以降に発行された児童書については、コミック、参考書などを除き、ほぼ全てを収集しています。

●外国語資料（英語、中国語など） ●貴重書（葵文庫・久能文庫など）

●視聴覚資料（VHS、DVDなど）

今後の静岡県立中央図書館に期待すること、サービス

◆図書館司書の採用と増員
効率的な図書館運営には専門職員が必要

◆資料費の充実
より多くの資料を収集し、県民の調べる・学ぶに伝える

◆障がい者・多文化サービスの充実
全ての人が使える資料、施設、運営

◆児童室の設置
子どもたちの読書環境と調べ学習の支援

◆学校図書館へのサポート
司書教諭・学校司書への研修や資料の貸出

◆デポジットライブラリーの運用
県単位で資料を保存するしくみの整備

◆新館の建設
現在の建物は築後40年以上経過し、狭隘化、老朽化への対策が必要。